

こどもの読書週間がはじまります！

図書館では、4月23日（火）～5月12日（日）の期間、こどもの読書週間イベント「水族館できらめくおさかなの世界」を開催します。

武蔵野台図書館ではイベントにちなんだ展示も行いますので、この機会にぜひ図書館を御利用ください！

また、4月24日（水）にはこどもの読書週間おはなし会も実施します。ぜひ御参加ください！

こどもの読書週間おはなし会 4月24日（水）午後3時30分～ 先着60人

展示している本の一部を紹介します！



「ジンベエザメのはこびかた」
松橋 利光/写真 高岡 昌江/文
宮野 耕治/絵 ほるぷ出版/出版

からだのもようが^{じんべえはおり}「甚兵衛羽織」という服に似ていることからその名がついた「ジンベエザメ」。大阪にある^{かいゆうかん}「海遊館」は、ジンベエザメを飼育している、国内でも数少ない水族館です。

海遊館のジンベエザメは、高知県の^{とさしみず}土佐清水市沖合で^{ていあみ}漁師さんの定置網にまよいこんでいたところを、保護されました。そして、約320km（^{せんたい}だいたい福生市から^{きより}宮城県仙台市くらいまでの距離です！）も離れた海遊館にやってきたのです。からだの大きなジンベエザメを、いったいどうやってはこんだのでしょうか？



「岸壁採集！ 漁港で
出会える幼魚たち」
鈴木 香里武/著
株式会社ジャムハウス/出版

どんないきものでも、赤ちゃんはひととき可愛らしいものです。しかし、魚の赤ちゃんとなると、どうすれば出会えるのか知らない方も多いのではないのでしょうか。

この本では、^{がんべき}「岸壁幼魚採集家」である著者が、漁港での魚の赤ちゃんの採集の方法や、採集をする際の注意事項などをわかりやすく解説しています。意外なことに、海の底や波打ち際ではなく、人工的な漁港や岸壁で生まれ育つ魚は多いのです。

漁港での注意やきまりごとを守って、海の赤ちゃんたちに会いに行ってみませんか？